

## 研究活動 Research Activities

飯塚 隆 / Takashi IIZUKA

### [展覧会]

「聖なるもの、俗なるもの メッケネムとドイツ初期銅版画」(2016年7月9日-9月19日) カタログ翻訳・編集補佐

「クラナハ展 — 500年後の誘惑」(2016年10月15日-2017年1月15日) サブ担当、カタログ編集補佐

「ミケランジェロと理想の身体」(2018年6月19日-9月24日) 企画準備

### [著作]

橋場弦、村田奈々子編『学問としてのオリンピック』山川出版社、2016年(共著)

### [講演]

「黄金の輝き—美の創造の場」日本ギリシャ協会主催講演会、東京藝術大学、2016年7月30日

「リアルなギリシャ美術—創造と想像のキャッチボール」古代ギリシャ展特別講演会、神戸市博物館、2017年3月5日

### [その他]

橋本コレクションの収蔵・管理および作品撮影

川口雅子 / Masako KAWAGUCHI

### [論文等]

「ロンドンに残された松方コレクション：パンテクニカン倉庫保管作品をめぐる資料調査報告」『国立西洋美術館研究紀要』21号、pp. 5-17

ビルギト・ヨース著、川口雅子・楯石もも子共訳「講演記録 ドイツにおけるアート・アーカイヴ：その概要」『アート・ドキュメンテーション研究』24号、pp. 59-69

### [講演・普及活動等]

ゲスト講師：「美術館で情報専門職が果たす役割とは？」獨協大学全学総合講座「芸術と社会—芸術が社会の中で果たす役割について」2016年5月19日

### [調査・研究]

科学研究費基盤研究(B)「在外松方コレクション資料の学術調査と美術品来歴研究」(研究分担者)

『松方コレクション 西洋美術全作品』編集(2018年刊行予定、平凡社)

平成28年度科学研究費補助金研究成果公開促進費(研究成果データベース)「国立西洋美術館データベース」(研究代表)

### [取材協力]

「情報発信力に乏しい国立の博物館や美術館—情報発信充実は文化力表す」『東京新聞』2016年6月6日、24-25面

「幻の松方コレクション判明—ロンドン焼失分 英にリスト」『読売新聞』2016年9月5日夕刊、1面

「夢は海を越えて『松方コレクション展』を前に—(7) 研究者たち

収集品全容解明へ前進」『神戸新聞』2016年9月8日

### [その他]

国立美術館「データベース作成と公開に関するワーキング・グループ」検討委員

全国美術館会議情報・資料研究部会幹事

文化庁「著作物等のアーカイブ化の促進のための関係意見聴取会」協力

国際図書館連盟(IFLA) 美術図書館分科会常任委員

アート・ドキュメンテーション学会幹事長補佐

東京藝術大学非常勤講師

川瀬佑介 / Yusuke KAWASE

### [講演等]

「カラヴァッジョ展の見どころ」カラヴァッジョ展特別講演会、イタリア文化会館アネッリホール、2016年4月2日

「ルネサンスを超えた男、カラヴァッジョ—生涯と作品、その影響」日本工業倶楽部美術講演会、日本工業倶楽部、2016年4月5日；イタリア研究会例会、東京文化会館会議室、2016年4月6日；ワールド航空サービス知求アカデミー講座(日比谷)、2016年4月15日；展覧会自治体講演会、調布市文化会館たづくりくすのきホール、2016年4月18日；同友クラブ美術鑑賞会、国立西洋美術館、2016年4月19日；展覧会自治体講演会、大田区民プラザ 大ホール、2016年4月22日；立教大学講義「美術の中のキリスト教」(武井美砂講師)、2016年5月20日；ソフィア美学芸術学研究会総会、上智大学オールソフィアンフェスティバル、2016年5月29日

「カラヴァッジョとスペイン—近年の研究動向」スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会2016年度総会および研究会、上智大学、2016年4月17日

「展覧会の見かた〜カラヴァッジョ展を例に」成城大学文芸学部芸術学・美術史実習(喜多崎親講師)、2016年4月22日

「展覧会の見せかた〜カラヴァッジョ展を例に」上智大学学芸員課程博物館実習(佐々木英夫・内川隆志講師)、国立西洋美術館(来館)、2016年5月12日

「ローマとナポリにおけるカラヴァッジョの継承者たち〜ジュゼペ・デリベラを中心に」カラヴァッジョ展記念講演会、国立西洋美術館、2016年5月14日

### [その他]

在外研究(スペイン、マドリード、プラド美術館)、2016年10月29日-2017年4月8日

上智大学大学院文学研究科非常勤講師(文化交渉学専攻)

スペイン・ラテンアメリカ美術史研究会運営委員

美術館・博物館の次世代照明基準に関する研究調査委員会委員

新藤 淳 / Atsushi SHINFUJI

[展覧会]

「クラーナハ展—500年後の誘惑」2016年10月15日-2017年1月15日

[執筆]

共編著書:

『クラーナハ展—500年後の誘惑』カタログ(ガイド・メスリングとの共同責任編集)、TBS テレビ、2016年10月

共著書:

『ドイツ・ルネサンスの挑戦—デューラーとクラーナハ』(田辺幹之助監修、岩谷秋美共著)東京美術、2016年10月(執筆担当頁: pp. 12, 16, 96-117, 118-133)

論文/エッセイ:

「別なる場所、ここにいてなお—グローバルアート時代の『悪い場所』で」東浩紀編『ゲンロン3』2016年7月、pp. 108-127

「閉ざされた円環の重力—グスタフ・クリムトの総合芸術作品をめぐる」池田祐子編『ウィーン 総合芸術に宿る夢(西洋近代の都市と芸術4)』竹林舎、2016年8月、pp. 349-378

「クラーナハ、その誘惑のアナクロニー」『クラーナハ展—500年後の誘惑』カタログ、TBS テレビ、2016年10月、pp. 242-254

その他:

「世界美術史の批評的地平」(黒瀬陽平共著)東浩紀編『ゲンロン3』2016年7月、pp. 166-168

「クラーナハ展—500年後の誘惑」『ゼフェロス』No. 68、2016年8月、pp. 1-2

作品解説および章解説『クラーナハ展—500年後の誘惑』カタログ、2016年10月、pp. 80-81, 83, 86, 104-106, 109, 130, 133-134, 147-149, 160, 174-180, 183, 207, 210-213, 220-221

「クラーナハ展—500年後の誘惑」『美術の窓』2016年10月号、生活の友社

「クラーナハ展—500年後の誘惑」『うえの』2016年10月号、上野のれん会、pp. 21-23

「クラーナハ展—500年後の誘惑」『Nile's Nile』2016年10月号、ナイルルコミュニケーションズ、pp. 40-43

「記憶の重みを背負うひとびと」映画「グレート・ミュージアム」パンフレット、ドラマ、2016年10月

「クラーナハ展—500年後の誘惑」『文化庁広報誌 ふんかる』(web)文化庁、2016年11月

「時代の欲望を量産せよ! クラーナハの芸術力と人間力」『芸術新潮』2016年11月号、pp. 30-63

「安藤裕美」(あなたの知らないニューカマー・アーティスト100)『美術手帖』2016年12月号、p. 384

「早すぎた関係性の美学? あるいは協働幻想のなかで」(シャルロッテ・ボゼネンスケ展レビュー)『美術手帖』2017年1月号、pp. 166-167

翻訳:

クレイグ・オーウェンス「アレゴリー的衝動—ポストモダニズムの理論に向けて: 第1部(後)」東浩紀編『ゲンロン2』2016年4月、pp. 258-267/同「アレゴリー的衝動—ポストモダニズムの理論に向けて: 第2部」『ゲンロン3』2016年7月、pp. 270-293(監修: 中野勉)

作品解説『クラーナハ展—500年後の誘惑』カタログ、pp. 36-38, 54, 62, 76, 84, 88, 136, 150, 154, 170, 184, 202, 204, 228, 236-238

[普及活動等]

講演/レクチャー等:

講演「クラーナハ展—500年後の誘惑」(芸術新潮 Presents 学芸員に聞く ダリとクラーナハ、その魅力のすべて) 新潮講座神楽坂教室、2016年11月2日

スライドレクチャー「クラーナハ展について」(先生のための鑑賞プログラム) 国立西洋美術館講堂、2016年11月4日

講演「クラーナハ展—500年後の誘惑」日本興業倶楽部、2016年11月16日

講演「クラーナハ展—500年後の誘惑」(MMM レクチャー) DNP 銀座ビル、2016年11月18日

講演「クラーナハ展—500年後の誘惑」(知求アカデミー) ワールド日比谷サロン、2016年11月22日

対談(鷹野隆大氏と)「鷹野隆大『距離と時間』オープニング・トーク」NADiff a/p/a/r/t、2016年11月26日

対談(ヴィヴィアン佐藤氏と)「映画『グレート・ミュージアム』上映後トーク」ヒューマンラストシネマ有楽町、2016年11月27日

講演「クラーナハ展について」(かすみがせき婦人会) 国立西洋美術館講堂、2016年11月30日

講演「誘惑は時を超えて—クラーナハと〈女のちから〉」国立西洋美術館講堂、2016年12月10日

スライドレクチャー「クラーナハ展について」(千葉大学学部生向け) 国立西洋美術館講堂、2017年1月6日

スライドレクチャー「クラーナハ展について」(猫町倶楽部東京藝術部) TKP 上野ビジネスセンター、2017年1月8日

対談(園子温氏と)「女のちから、イメージのちから—美術館と映画館で出会う、表現者の『ちから』」(青山ブックスクール) 青山ブックスセンター本店、2017年1月12日

ゲスト講義「ゲンロン カオス \* ラウンジ 新芸術校 上級コース」ゲンロン カオス \* ラウンジ 五反田アトリエ、2017年1月14日

メディア対応:

「細部に宿る美 クラーナハの画業をたどる」『日本経済新聞』電子版映像美術館、2016年10月19日配信

「映画『グレート・ミュージアム』について」AbemaTV、2016年11月16日放送

ぶらぶら美術・博物館「ドイツ・ルネサンスの巨匠『クラーナハ展』~世界遺産で体感! 500年の時空を超える“誘惑”とエロス~」BS日テレ、2016年12月2日放送

日曜美術館「謎のヌード クラーナハの誘惑」NHK・E テレ、2016年12月11日放送

陳岡めぐみ / Megumi JINGAOKA

[展覧会]

「シャセリオー展—19世紀フランス・ロマン主義の異才」(2017年2月28日-5月28日開催) 企画構成

[執筆]

『シャセリオー展—19世紀フランス・ロマン主義の異才』カタログ編集、エッセイ・作品解説執筆、エッセイ・作品解説翻訳

「グーピル社の1世紀」『西洋美術研究』19号、2016年、pp. 127-139

「座談会 美術市場と画商」『美術市場と画商 資料 文献リストと解題+画商関連情報』共著、『西洋美術研究』19号、2016年9月、pp. 8-38, 215-229

『西洋美術の歴史 7巻 19世紀 近代美術の誕生、ロマン派から印象派へ』共著、中央公論新社、2017年2月

[普及活動等]

「シャセリオー展—19世紀フランス・ロマン主義の異才」レクチャー、朝日カルチャーセンター、2017年3月31日

「シャセリオー展 19世紀フランス・ロマン主義の異才」東京・春・音楽祭レクチャー、国立西洋美術館講堂、2017年3月28日

「シャセリオー展 19世紀フランス・ロマン主義の異才 先生のためのレクチャー」国立西洋美術館講堂、2017年3月31日

[調査・研究]

科学研究費基盤研究 (A) 「西洋近世・近代美術における市場・流通・画商の地政経済史的研究」(研究分担者)

科学研究費基盤研究 (B) 「在外松方コレクション資料の学術調査と美術品来歴研究」(研究分担者)

『松方コレクション 西洋美術全作品』編集 (第1巻2018年刊行予定、平凡社)

[賞]

フランス芸術文化勲章シュヴァリエ受章

寺島洋子 / Yoko TERASHIMA

[教育普及活動]

ボランティア・プログラム

スクール・プログラム

ファミリープログラム

平成28年度 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修、2016年8月1-2日、東京国立近代美術館/国立新美術館

Fun with Collection 2016 「ル・コルビュジエと無限成長美術館—その理念を知ろう」

[口頭発表等]

「世界遺産・国立西洋美術館と建築家ル・コルビュジエ」台東区区民講座、台東区総務部、2017年2月12日

[論文・雑誌・報告書等]

「ル・コルビュジエと無限成長美術館—その理念を知ろう」『新美術新聞』美術年鑑社、2016年7月21日

「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」『公明新聞』公明党機関紙委員会、2016年7月27日

「ル・コルビュジエが夢見た〈無限成長美術館〉」『kotoba』集英社、2016年12月6日

「鑑賞する能力を育てることの重要性」『初等教育資料』2017年2月号、No. 949、文部科学省MEXT64、pp. 76-77

[調査・研究]

日本における博物館教育の歴史

科学研究費基盤研究 (B) 「美術館の所蔵作品を活用した探求的な鑑賞教育プログラムの開発」(研究分担者) 平成28年度-30年度オランダの美術館における教育活動調査、2016年9月21-30日

[その他]

東京大学人文社会系研究科併任助教授、2016年4月-2017年3月  
放送大学主任講師、2000年11月-2016年9月30日

一橋大学大学院言語社会研究科講師、2016年4月2日-9月28日

美濃加茂市民ミュージアム専門委員、2015年4月1日-2017年3月31日

中田明日佳 / Asuka NAKADA

[展覧会]

「聖なるもの、俗なるもの メッケネムとドイツ初期銅版画」(2016年7月9日-9月19日) 企画構成

「平成29年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵 ミューズ(芸術の女神): まなごしの先の女性たち」(2017年4月22日-7月2日) 準備

[執筆]

『聖なるもの、俗なるもの メッケネムとドイツ初期銅版画』カタログ編集/エッセイ・作品解説・章解説執筆/エッセイ翻訳

「ヤン・ファン・ケッセル(父) およびエラスムス・クウェリヌス作《アジア》(ミュンヘン、アルテ・ピナコテーク)にみるアジア表象の特徴とアジアへのまなごし、幸福輝編『17世紀オランダ美術の東洋表象研究』(学術振興会科学研究費基盤研究 (A) 報告書) 国立西洋美術館、2017年、pp. 51-58

[普及]

「聖なるもの、俗なるもの メッケネムとドイツ初期銅版画」展関連講演「俗なるもの—メッケネムと世俗主題版画」国立西洋美術館講堂、2016年8月27日

「聖なるもの、俗なるもの メッケネムとドイツ初期銅版画」展スライドトーク、国立西洋美術館講堂、2016年7月15日、8月12日、9月9日

「メッケネム展 先生のための鑑賞プログラム」国立西洋美術館講堂、2016年7月29日

「ブリュッゲルとバロックの巨匠 ルーベンス、レンブラント、ペラスケス、光と影の天才たち」展関連講演「ブリュッゲル作品とフランドル絵画の魅力」岡崎市美術博物館、2016年10月23日

[調査・研究]

学術振興会科学研究費基盤研究 (A) 「17世紀オランダ美術の東洋表象研究」(連携協力者)

袴田紘代 / Hiroyo HAKAMATA

[展覧会]

小企画展「モーリス・ドニの素描—紙に残されたインスピレーションの軌跡」2016年10月15日-2017年1月15日

企画展(副担当)「シャセリオー展—19世紀フランス・ロマン主義の異才」2017年2月28日-5月28日

巡回展準備(副担当)「平成29年度国立美術館巡回展 国立西洋美術館所蔵 ミューズ(芸術の女神): まなごしの先の女性たち」2017年4月22日-7月2日、福島県立美術館; 2017年7月15日-9月18日、秋田県立近代美術館

企画展準備「北斎とジャポニスム」2017年10月21日-2018年1月28日

[執筆]

「若手研究者よりの報告: 演劇と美術の交差点としての挿絵入りプログラム」『日仏演劇協会会報』復刊6号、2016年6月、pp. 15-17

「国立西洋美術館所蔵 モーリス・ドニの素描目録」『国立西洋美術館研究紀要』21号、2017年3月、pp. 35-56

「小企画展『モーリス・ドニの素描—紙に残されたインスピレーションの軌跡』『ゼフェロス』No. 69、2016年11月、p. 3

[トークイベント]

若手研究者トークイベント「演劇と美術の交差点—象徴主義からベケットまで」日仏演劇協会主催、室伏鴻アーカイブカフェ Shy、2017年2月11日(宮脇永吏氏、堀切克洋氏と)

フライデー・ナイト・ミュージアム @ 上野「美術体験のデザイン」文化庁他主催、国立西洋美術館、2017年3月17日(ロバート・キャンベル氏、林暁甫氏と)

[メディア対応]

東京MXTV「アートステージ」2016年5月21日放送(出演)

東京新聞「カジュアル美術館」2016年7月17日掲載(取材協力)

邊牟木尚美/Naomi HEMUKI

[保存修復活動]

所蔵作品の保存修復作業、日常的メンテナンス

所蔵作品の貸出に伴う保存修復関連業務

所蔵作品の保存修復活動の調整・運営

所蔵作品の保存修復関連情報の整理

寄託作品収蔵のための実務作業全般(写真撮影、状態調査票作成、状態調査・記録、軽微な埃払い、梱包資材の交換と再梱包)

巡回展準備作業(出展候補作品の状態調査・記録、出品可否の判断、修復計画立案、修復作業にかかる場所の調整、資機材調達、修復作業準備・片づけ、絵画および彫刻の保存修復作業、クレーン仕様の決定と指示、巡回展開催館の学芸員との打ち合わせおよび展示場所・方法の指示、作品点検調書の作成、搬出入時の作品点検)

保存修復専門家養成にかかる協力(保存修復施設見学の受入対応など)

保存修復関連施設・資機材管理

絵画の技法材料研究に関する東京藝術大学との共同研究の実施

[調査・研究活動]

金属文化財の保存修復に関する世界的動向調査(国際博物館会議 保存修復グループ 金属文化財ワーキンググループ トリエンナーレ会議参加)、インド、ニューデリー、2016年9月21日-10月3日

[学会発表]

文化財保存修復学会第38回大会研究発表(ポスター発表)『高徳院国宝銅造阿弥陀如来坐像の状態調査および表面クリーニング』邊牟木尚美(国立西洋美術館)・及川崇(おいかわ美術修復)・小林芳妃(彫刻・立体作品保存修復)・伊藤一洋(山岸鋳金工房)・渡辺真樹子(東京文化財研究所)・鈴木恵梨子(川崎市市民ミュージアム)・森井順之(東京文化財研究所)・早川典子(東京文化財研究所)・佐藤孝雄(高徳院、東海大学湘南キャンパス、2016年6月26日)

[その他]

「平成27年度 国庫補助事業 国宝銅造阿弥陀如来坐像保存修理事業 保存修理業務(クリーニングおよび状態調査)」調査データ分析・整理作業

帝京大学理工学部非常勤講師

愛知県立芸術大学「材料学B(金属)」2016年10月27日

村上博哉/Hiroya MURAKAMI

[展覧企画]

「スケーエン：デンマークの芸術家村」2017年2月10日-5月28日、国立西洋美術館新館2階展示室

[論文・執筆]

(書評)「大高保二郎古希記念論文選 スペイン 美の貌」『図書新聞』3254号、2016年5月7日

「松方コレクションと国立西洋美術館」『松方コレクション展—松方幸次郎 夢の軌跡』カタログ、神戸市立博物館、2016年9月、pp. 208-214

「展覧会の趣旨と謝辞」『スケーエン：デンマークの芸術家村』展カタログ、国立西洋美術館、2017年2月、pp. 29-32

[講演]

「松方コレクションと国立西洋美術館」神戸市立博物館、2016年11月5日

[その他]

日本芸術文化振興会美術専門委員会委員

国立文化財機構文化遺産防災ネットワーク有識者会議委員

宮城県美術館協議会委員

東京都美術館外部評価委員会委員

愛知県美術館美術品収集委員会委員

鹿島美術財団推薦委嘱者

横山佐紀/Saki YOKOYAMA

[展覧会関係教育普及活動]

講演会運営

先生のための鑑賞プログラム実施

作品リスト(和英)

団体向けオリエンテーション

会場作品解説パネル(メッケネム展・クラナハ展・シャセリオー展)

会場用作品解説パネル拡大文字版制作(カラヴァッジョ展)

障がい者のための特別鑑賞会(カラヴァッジョ展)

[常設展教育普及活動]

障害者受け入れのプログラム研究・実施(武蔵野東小学校、都立文京盲学校、都立八王子盲学校)

盲学校の教員を対象とする研修(平成28年度全国盲学校図工・美術研究会、国立西洋美術館講堂、2016年8月25日)

[世界遺産関連本館建築教育普及活動]

建築探検マップ改訂版制作

本館建築オーディオガイド制作

[外部資金]

科学研究費基盤研究(C)「10年後の被災都市におけるミュージアムの教育プログラム—ニューオリンズを事例に」(研究代表、課題番号:15K01154)

[海外調査研究]

ニューオリンズ:ルイジアナ子ども博物館、ルイジアナ州博物館/ニューヨーク:ナショナル・911メモリアル&ミュージアム、2016年4月1-10日

科学研究費基盤研究(C)「10年後の被災都市におけるミュージアムの教育プログラム—ニューオリンズを事例に」(研究代表、課題番号:15K01154)として

[美術館を活用した教員研修等]

平成28年度都中美夏季研修会「美術と社会～つながり・広がり・生成～」グループワーク・ファシリテーター、東京国立近代美術館、2016年7月25日

平成28年度美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修(主催:独立行政法人国立美術館、共催:文部科学省)、グループワーク・ファシリテーター(東京国立近代美術館、2016年8月1日)、運営スタッフ(国立新美術館、8月2日)

[論文・報告書等]

ワークショップコメント:「美術館からみる『みんなぼく』で教室と世界をつなごう!」上羽陽子・中牧弘ちか・中山京子・藤原孝章・森茂兵雄編、国立民族学博物館調査報告138『学校と博物館でつくる国際理解教育のワークショップ』国立民族学博物館、2016年、pp. 89-90

書評:『「世界認識の方法」としてのリアリズム—小林剛『アメリカン・リアリズムの系譜—トマス・エイキンズからハイパーリアリズムまで』表象文化論学会『表象』10、2016年4月15日、pp. 318-321

図書紹介:田中正之・横山佐紀・小林剛・瀧井直子・江崎聡子『創られる歴史、発見される風景 アート・国家・ミソロジー(アメリカ美術叢書)』(ありな書房、2016年1月)、表象文化論学会学会ニュース「REPRE」27、2016年6月

[教育活動]

立教大学非常勤講師  
国立民族学博物館共同研究員

渡辺晋輔/Shinsuke WATANABE

[著作]

『MASTERPIECES: The National Museum of Western Art, Tokyo』作品解説執筆、2016年

『ティツィアーノとヴェネツィア派展』(東京都美術館、2017年)カタログ作品解説2点(nos. 41, P-3)

[雑誌記事]

「ラファエロの換骨奪胎戦略と、伝統の構築」『美術の窓』8月号、2016年8月、pp. 10-15

「2015年度収蔵作品について」『ゼフュロス』No. 69、2016年11月、pp. 1-2

[翻訳]

アメリカ版画評議会編『紙本作品貸出のためのガイドライン 2015年デジタル版』共訳、国立西洋美術館、2016年

『ティツィアーノとヴェネツィア派展』(東京都美術館、2017年)カタログ作品解説3点

[口頭発表]

「The National Museum of Western Art, Tokyo—Collection and Exhibitions」中央文化管理幹部学院(北京)、2016年7月19日(英語による発表)

[講演]

「国立西洋美術館の活動と課題」日本女子大学、2016年5月14日

「国立西洋美術館のコレクション史—松方コレクションから国立西洋美術館の誕生、そして現在に至るまで」青山ブックスクール、2016年8月6日

「ルネサンスの空間描写と物語表現」国立西洋美術館ボランティアスタッフ養成研修、2016年9月20日

[国際会議参加]

International Advisory Committee of Keepers of Public Collections of Graphic Art, XVth Convention、プラド美術館(マドリッド)、2016年5月29日-6月1日

The 10th 10+3 Workshop on Cooperation for Cultural Human Resource Development、北京・寧波、2016年7月17-27日

[その他]

Sir Denis Mahon Essay Prize(イギリス)審査員